

## 第603回建設技術講習会 現場研修事業の概要

### 1 横手市増田地区街なみ環境整備事業

..... 横手市増田町

増田地区は中世城下町の骨格を踏襲しながら今日の町割が成立したとみられ、手倉街道と小安街道という旧街道が合流する地点という立地特性を活かしながら物資の流通拠点として発展しました。現在も内蔵のある町として知られており、中七日町通り周辺に残る明治のはじめから戦前にかけて建てられた主屋が軒を連ねる街なみは、今後の地域の活性化に重要な役割を果たす歴史・文化系資源として、その保全や活用を検討した結果、「伝統的建造物群保存地区」として平成25年7月に都市計画決定し、同年12月27日に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました。



保存地区とその周辺は、「横手市景観計画」において住民主導による景観形成・まちづくりの先進地域に期待されており、地域特性やこれまで培ってきた歴史・文化を踏まえた、美しい田園景観やそれと調和した街なみ景観の形成の実現とともに、市民生活にとって必要な公共施設等街なみ環境整備を実施し、市民が主役の景観形成の具現化を目指しています。

### 2 日本海沿岸東北自動車道「象潟仁賀保道路」整備事業

..... にかほ市

日本海沿岸東北自動車道（日沿道）は、新潟県新潟市を起点に東北縦貫自動車道（弘前線）と連結し、青森県青森市に至る延長約322kmの高規格幹線道路で、新潟県・山形県・秋田県・青森県の主要都市を結ぶ自動車専用道路です。



東日本大震災時には、日本海側の道路が太平洋側への救助隊移動や支援物資、燃料等の輸送において重要な役割を果たしました。日沿道が整備される事により日本海側に災害に強いネットワークが形成され、また、市街地における交通混雑の緩和や関東以北の日本海側に新たな連携や交流による地域づくりの可能性が広がるとともに、地域の救急医療カバー圏が拡大するなど、多角的な整備効果が期待されます。こうした背景を踏まえ、日沿道の全線開通に向け、事業の推進を図っています。

象潟仁賀保道路は、秋田県にかほ市の象潟ICから仁賀保ICに至る総延長13.7kmの高規格幹線道路で、国道7号の交通混雑の緩和や騒音など沿道環境の改善、救急医療施設など秋田市内へのアクセス性の向上、災害時の緊急輸送路や事故などによる通行止め時の迂回路としての機能が期待されています。

### 3 国道107号拡幅工事「本荘道路工区」

..... 由利本荘市

一般国道107号は、岩手県大船渡市を起点とし、秋田県由利本荘市に至る延長198kmの幹線道路です。

本荘道路工区は、由利本荘市内において、国道107号と国道105号、国道108号とがそれぞれ交差し、交通量が多く慢性的な交通混雑が発生している2.0km区間において、交通混雑の解消や日本海沿岸東北自動車道へのアクセス強化などを目的として、拡幅（車線数増加【2車線→4車線】工事）を行っています。

